

6年 丸沼高原移動教室 (R1, 7, 10(水)~12(金))

3日間すっきりしない天気予報の中、6年生が丸沼高原に行ってきました。

一日目、日光東照宮に到着、天気は霧雨が降ったり止んだり…。傘は差すほどでもなく、きらびやかな陽明門をはじめ、三猿や眠り猫、家康の墓、鳴竜といった見どころを楽しみました。今回は両クラスにガイドさんをお願いしたので、徳川家康という人と、それを祀った人たちの思いをあらためて詳しく知ることができました。ここで少し時間が押し、腹ペコの状態で急ぎ昼食予定地の戦場ヶ原赤沼へ。



後ろに陽明門



三猿の前で



霧のいろは坂



お弁当は青空の下で



戦場ヶ原ハイキング



湯滝の美しい流れ



宿舎「シャレー丸沼」

丸沼高原へ。スキーロッジスタイルの宿舎「シャレー丸沼」、子供たちはすぐに気に入って、部屋に入るとまもなく温泉タイムになりました。露天風呂もあって、標高 1400m の生活を楽しんでいました。

食事はおいしくて、メニューも豊富。食べきれないほどの量なのに何度もおかわりをする子もいて、頼もしいやら、心配やら…。お水を飲みすぎて、食

後のきもだめしでは、スタート前に何度もトイレに行く子が何人もいました。夜の高原や暗い部屋を舞台に、男女でお札を求めて勇敢にチャレンジしました。お面をかぶった飛び入りのお化けたちに、子供たちも大喜びでした。

二日目、朝は霧が濃く、予定していた登山は黄色信号。とりあえず標高 2000m までロープウェイで上がって、その状況で登山か散策かを決めることにしました。霧の中をロープウェイで登っていくと、途中で雲を抜け青空が広がりました。標高 2000m が近づくと、登山にチャレンジする日光白根山がはっきりと見え、雲海を見下ろす美しい景色に、気分が一気に高まりました。



ゴンドラで雲を抜けると…



目指すは日光白根山頂！

登山のガイドさんもついて、厳しい白根登山がスタート。上りが続くと子供たちからは「疲れた」「休みたい」「水飲みたい」「下りたい」の声が出まくりです。厳しいガイドさんからは、「休憩でも座ってはダメ、次立てなくなるから」「弱音は吐かないで」「ホントに下りたいの?」「無理ならここで止めて戻って」と立て続けに厳しい言葉が…。そのためみんなから超嫌われてしまったガイドさんでしたが、その厳しい指導のおかげで、何とか全員登頂に成功しました。ある高さまで行くと森林が育たず、石や岩だらけの道になって、これがまた滑って歩きにくく、子どもたちには相当堪えたようです。おいしい空気、美しい景色、狭いけど達成感のある山頂を味わい、お弁当を食べて下山。下りは滑ってバランスの悪い子が少し遅れましたが、往復 5 時間、

無事に 2000m地点に戻ってきました。そこでは、おいしいソフトクリームと「天空の足湯」という素敵な足湯用の温泉で疲れを癒し、日光白根を満喫しました。

ゴンドラで宿舎の近くまで下ると、途中からはまた雲の中。案の定、下界は霧でしたが、路面が濡れるような雨ではなかったので、予定通り一人2回サマーリュージュにチャレンジしました。動力のない4輪のそり(?)での山下りはかなりスピードが出るので、迫力にはまってしまった子も多かったです。そのあとのお土産タイムでは、「お土産代を全部つぎ込んでいいから、もっとサマーリュージュやりたい!」という子もいたほどです。

その後、夕食を食べていると雨が降り出し、キャンプファイヤーの実施は厳しい状況になりました。しかし、火は雨でも消えないというので、小雨の中「儀式」ののところだけ外でやって、あとのお楽しみの部分は宿舎内のレクリエーションホールで行うこととしました。儀式が終わる頃、「このまま雨の中で続きをやりたい!」という声が多かったのですが、体のことを考え中に入るよう指示をすると、



儀式は外で



歌・ダンス・ゲームは大盛り上がり

その時、飛び入りの花火師によって、霧の空に美しい花火が打ち上がり、大歓声が上がりました。おかげで、宿舎内に場所を移しても子供たちは盛り下がることなく、ゲームやダンス、歌に思い切り打ちこんで、46人が一体になって楽しんでいました。その様子を、担任の先生はもちろん、火の神様も嬉しそうに眺めていました…。9時まで延長して行ったキャンプファイヤー、その後は素早く準備をして、みんなよく眠れたようです。

三日目、朝、目を覚ますと雨。しかし、朝会の時間前には上がって、予定通り外で朝会を行い、グレンデの散歩もしました。バイキングの朝食もたっぷり食べて、帰りの支度も済ませてから、食堂で日光彫りの体験をしました。指導してくださった職人さんの技術に感激し、体験中に聞きたいことがあると、職人さんに向かって「師匠!」と声をかける子供たちでした。普通の彫刻刀とはちょっと変わって、木を引っ搔くように削るので、なかなか難しいのですが、上手に削っている子もたくさんいました。

楽しい宿舎の生活に別れを告げ、バスで白根魚苑へ。そこではニジマス釣りにチャレンジしました。釣り堀なので割とすぐに釣れるのですが、餌を自分でつけたり、釣った魚から針を外したり、釣ったばかりの魚をすぐに焼いて食べたりする経験は初めてという子も多かったので、みんな楽しかったようです。囲炉裏で魚を焼いてもらっている間に雨が降り、魚とお弁当を食べ終わるとまた雨が上がって、無事に記念写真を撮影できるという、何ともラッキーな天気でした。釣り立て、焼き立ての魚は、とても美味しかったです。

今年は雨が多いので、例年よりも水量が多く迫力のある流れとなった「吹割の滝」を見学しました。川の流れが2方向に分かれ、向かい合うように流れ落ちる様子は、まさに「東洋のナイアガラ」の名にふさわしい迫力でした。ここでもマイナスイオンをたっぷり浴び、一路学校へ。

金曜にもかかわらず、思いの外流れの良かった道路のおかげで、ほぼ予定通りの時間に到着することができました。日中降っていた雨のために、校庭ではなく体育館での到着式となりましたが、雨は上がっていたので傘を差すことなくバスから戻りました。6年生全員で参加し、一体となって盛り上がるのができたとともに、つらかった山登りでさえとても楽しかった経験になったという子供たちの感想に、今回の移動教室は大成功だったということをつけ加えて、ご報告とさせていただきます。6年生、がんばったね。お疲れさまでした!



天空の足湯でゆったり



迫力のサマーリュージュ



日光彫りに集中



釣ったニジマス焼いて...



迫力の「吹割の滝」